

姦夫を殺

一 妻妾は姦通之人を殺候者勿論姦夫迄を殺候ハ、姦婦ハ姦犯條に依て論定、若妻妾姦よよつて姦夫と謀て本夫を殺候者、姦夫も併而斬、婦之鼻首、若姦夫自ら本夫を殺ハ姦婦雖不預是又姦夫と併而刎首、若本夫姦婦を殺、且姦婦逼而致自殺候ハ、姦夫刎首

(此間約七行分白紙)

例

嘉永七年十一月

一本夫姦夫を殺候節之姦夫其身不埒とてして重人命ニ係ルと云を以加等ニ相成候例有之候得共、右姦婦

一本夫姦夫を殺候節之姦婦加等無之例、享和三年五月布田手永岩坂村榮作妻せよ、天保十四年二月竹廻町作兵衛妻本も弘化四年四月北里

手永萩原村喜左衛門妻ちよ、加等之例ハ享和元年十二月山鹿手永下宮村尉七妻せをとり始り、七を儀と外ニ加等之譯有之、人命ニ係ルと云一偏之儀とハ相見不申候事

之御刑法明文被設置候上ハ、人命ニ係り候譯を以加等之僉議ハ安兼、殊ニ加等無之例も有之、旁右之加等ハ無之方相當可致段、高森手永吉田村與三八妻壽き僉議相決候事

(此間三枚と約六行分白紙)

盜賊を殺

一 強盜を殺候ハ無論 既ニ捕候上ニ而故らに殺候者 咎百 付火いさし候者并牛馬を盜候類凡死罪之者を殺候者臨時判決

(此間二枚半と約三行分白紙)

妖術毒藥を以人を殺

一 妖術を以人を殺し且毒藥を用て人殺候者各謀殺を以論 若妖術も唯人殺疾苦せしめ毒藥を唯人を